

## ☀ 緩和ケアにおける栄養管理について ☀

「食べる」ことは「栄養をとること」以外にも「楽しみ」ともなります。緩和ケアの栄養サポートは疾患の進行状態によっても変わってきます。経口栄養、経腸栄養、静脈栄養などの選択肢があります。

### 積極的治療時期・・・治療に耐えられる体力を付けるための食事



カロリー、蛋白質、ビタミンなどバランスよく摂取  
 低栄養や骨格筋減少を予防



### ターミナル時期・・・体力・免疫力を維持しつつ食事を楽しむことを大事にする食事

積極的な栄養投与を行っても有効に利用されず代謝上の負担に・・・  
 輸液は浮腫、腹水などの増加に繋がる場合もあり注意が必要

治療や病態により食欲不振、嘔気、嚥下困難など食事がとりにくくなることもあるため、その時々々の症状に合わせた食事対応が大切です。

当院では、疾患の進行状態に合わせて、積極的な栄養補給よりも患者さんのQOLの向上を大切にしています!!

### 口腔ケア

食事をしていなくても口腔ケアを実施しています。口腔内を清潔に保ち、誤嚥性肺炎を予防します。



食事は栄養補給だけではない

好きなものや美味しいものを食べると嬉しくなり気持ちも和む

楽しみや喜びも大切です



### 入院中の食事対応

管理栄養士が病室訪問し、患者さんの状態やご希望に応じて食事内容を検討しています。できる限りのご希望に応えられるよう、栄養課全体でも取り組んでいます。

#### 症状に応じた工夫

味覚の変化  
 口内炎  
 食欲不振 など

↓  
 冷まして提供  
 濃味・さっぱりした物提供  
 亜鉛不足に注意  
 とろみで飲み込みやすく など



#### 栄養補助食品の利用

ジュース、ゼリー、アイスタンプがあり味も色々

少量でも栄養がとれ、舌触りもよく食べやすい

